

ダイオキシン類排出量状況調査 東京都



東京都の2003年度ダイオキシン類排出量及び発生源対策状況がまとまり発表されました。それによると排出量推計値は、2.99g-TEQ、2002年度比で約55%減となりました。これは、ダイオキシン類対策特別措置法が施行された以前の1998年度推計値の20分の1に減少しました。

この推計値が大きく下がった理由としては、全排出量の約75%を占める廃棄物焼却炉が2002年末の規制強化で改修が完了し、廃棄物焼却炉からの排出量推計値が2002年度より約62%削減したことがあげられます。この中でも、毎時2トン未満の小型焼却炉では廃止など対応が進み、基準を上回った施設からのダイオキシン類の排出濃度の平均値は大きく減っています。

ちなみに、ダイオキシン類対策特別措置法対象施設は575施設と、2002年度比で18施設減少しています。

今後も設置者による測定結果や高濃度施設への立ち入り指導を実施するほか、小型廃棄物焼却炉について、排出抑制に向けた指導を行っていきます。

資料:2004年9月15日付 化学工業日報 P.16

クロマト研究箇所 山田 悠貴

事業内容

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1 環境管理に伴う調査・測定・化学分析 | 5 土壌汚染対策法に基づく土壌汚染状況調査 |
| 2 ダイオキシン類に係る濃度計量証明 | 6 労働衛生管理に伴う作業環境測定 |
| 3 ビル管理に伴う水質検査・空気環境測定 | 7 トータルサニテーション管理 |
| 4 水道法第20条に基づく水質検査 | 8 委託試験・研究・開発 |

